

4月18日に、本校3年生59名を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語と数学の2教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

【総合結果（国語・数学）】

国語Bと数学A、Bにおいて、全国平均を上回ることができました。2教科ともB問題の数値が上がリ、説明をする問いなど記述式問題に対しての無解答率も低く、しっかり考え答えています。生徒が問題に向き合い、最後まであきらめないで取り組もうとする姿勢が育まれています。授業や家庭学習、定期テストなど、折に触れ記述に取り組んでいます。基礎学力の定着とともに、今後もこの取り組みを続けていきたいと思います。

【国語】

国語Aについて、文法に関しては京都府・全国平均よりかなり上なので、概ね理解できていると思われますが、漢字の読み書きなどの語彙力を試す基礎的な語句の力が足りない傾向がありました。基本的な学習を繰り返し継続するのが肝要かと思われます。また同じ語句でも問題Bの登場人物の心情理解や資料や図から正しく捉えるということは理解できていましたし、必要なことを聞き取る、情報を集めるといった活用的な設問もできていました。今後は読解・「話す」表現など今までの姿勢を継続しつつ、語彙を増やすことと、「書く」表現の演習・取組に力を入れましょう。



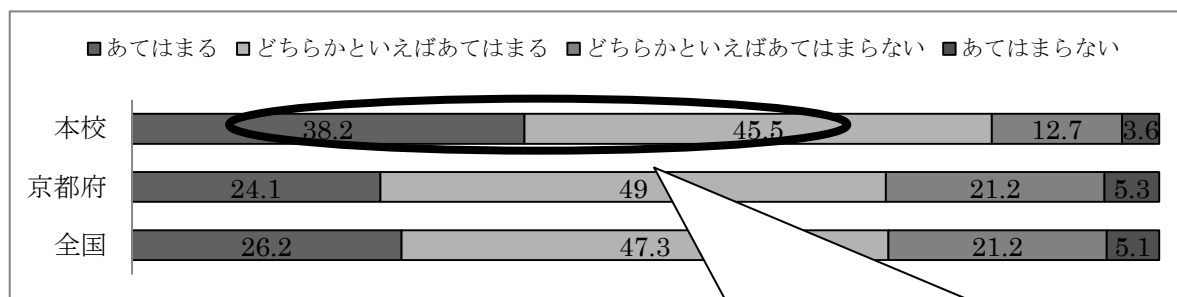
【数学】

全体的にとってもよくできています。しかし、数学Bの図形領域は平均を下回りました。図形についての知識の定着は見られます。身のまわりの事象を図形として捉える問題について課題があります。他の領域においても、同様の傾向があり、知識や技能の十分な定着がある一方で、具体的な場面から関係を見出すことが少し難しいようです。今後、授業や家庭学習などで、図や文章を読みとる力をつけていきましょう。また、普段の生活から、いろいろな事象を数学として捉えることをしましょう。



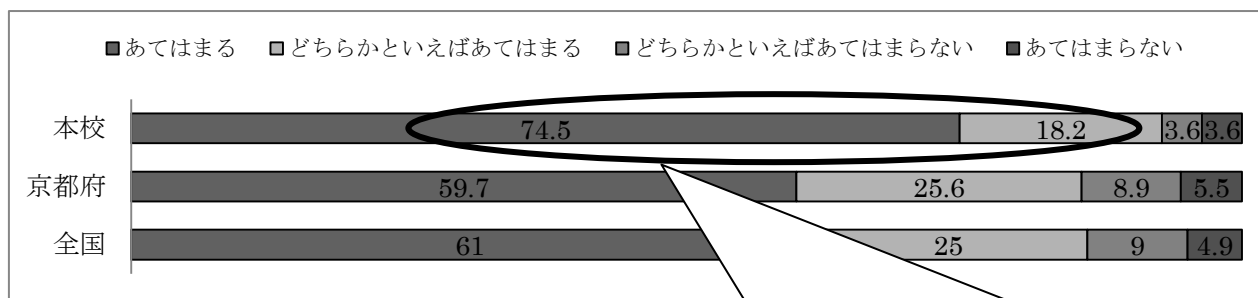
【生徒質問紙調査より①】

Q：授業での話し合う活動では、相手の考えを聞き、自分の考えを伝えているか



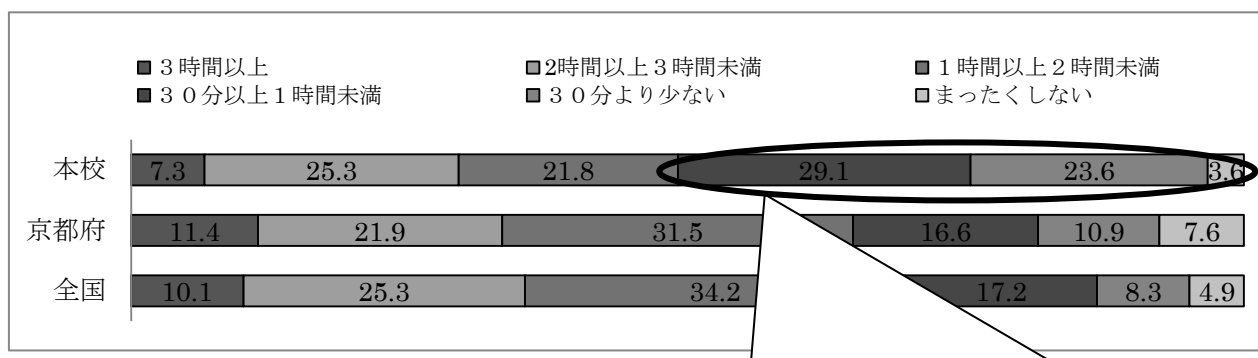
京都府、全国の結果と比べて、数値は大きく伸びています。多くの生徒が、話し合う活動に参加し、自分の考えをしっかりと伝えたり、自分と異なる考えを持つ友達の意見を聞いて参考にしたりする力がついています。その力は授業だけではなく、学校生活の多くの場面で発揮できています。

Q：みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか？



「修学旅行、西陵祭など大きな行事を、仲間や先生と協力し合って感動的なものにする」ことは、本校の伝統のひとつです。行事の成功は、当日(本番)の結果だけで決まるものではありません。当日までの長い過程で上手くいったり、いかなかったり様々な思いを経て当日があるのです。行事後の達成感や充実感は、生徒の心の成長だけでなく、学習意欲にもつながっていると考えています。

Q：平日、1日当たりどれくらいの時間、家で学習していますか？



「家で学校の宿題をしている」は、全国65%に対して本校は85%と、大半の生徒がきちんと取り組んでいます。しかし、上記の「何時間くらい」に対しては、約半数の生徒が「1時間未満」とかなり短いです。併せて、「携帯電話やスマートフォンの所持率」は全国に比べて高く、長時間使用による生活習慣の乱れ、学力の低下が懸念されます。使用時間は短めにし、家庭学習プリントをきっかけに自主的な学習も進めていきましょう。

【保護者の皆さまへ】

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果をみると、3年間で学力は着実に伸びてきており、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援の成果が表れています。

引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。